

道内の感染状況等について

【令和4年9月9日】

主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
9/8	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合 (注)	PCR 陽性率 (注)
全道	2	34.5% (780床) ↓	5.1% (7床) ↑	628.1人/週 (32561人/週) ↓	852.6人 (44198人) ↓	0.89 ↓	49.0% ↓	48.7% ↓
	2	33.2% (242床) ↓	8.2% (4床) ↑	607.7人/週 (11915人/週) ↓	813.4人 (15948人) ↓	0.87 ↓	48.9% ↓	57.3% ↓
	2	35.2% (538床) ↓	3.4% (3床) ↑	640.6人/週 (20646人/週) ↓	876.5人 (28250人) ↓	0.91 ↓	49.0% ↓	44.9% ↓
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週	20人			
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—	—			

※()は実数。

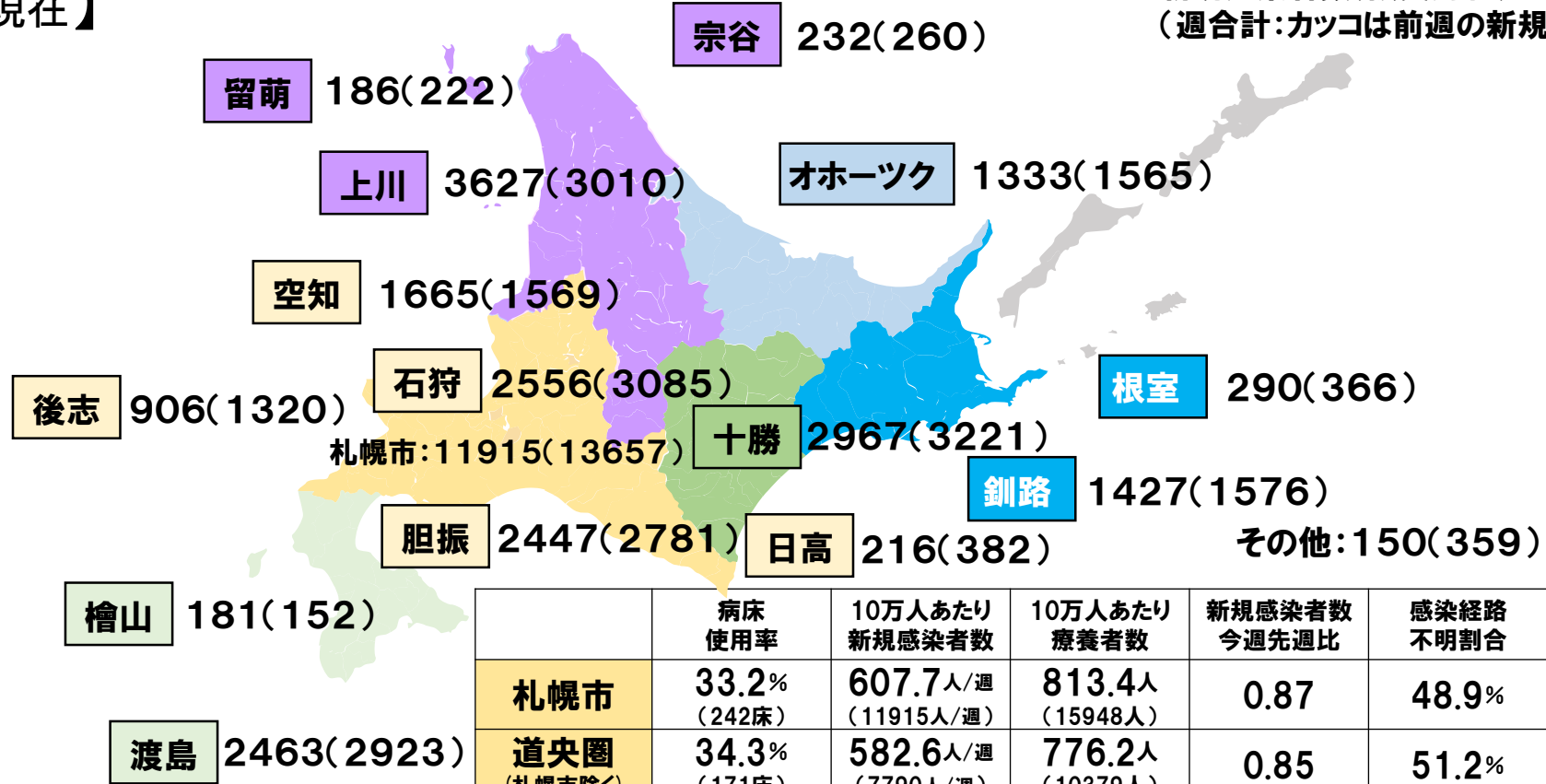
※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注) 現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。

地域における主な指標の状況

【9/8現在】

新規感染者数(振興局別)
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



	病床 使用率	10万人あたり 新規感染者数	10万人あたり 療養者数	新規感染者数 今週先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
札幌市	33.2% (242床)	607.7人/週 (11915人/週)	813.4人 (15948人)	0.87	48.9%	57.3%
道央圏 (札幌市除く)	34.3% (171床)	582.6人/週 (7790人/週)	776.2人 (10379人)	0.85	51.2%	44.4%
道北圏	41.8% (130床)	695.6人/週 (4045人/週)	1009.9人 (5873人)	1.16	57.5%	47.5%
道南圏	31.8% (74床)	643.1人/週 (2644人/週)	1026.5人 (4220人)	0.86	34.6%	46.1%
十勝圏	54.4% (92床)	894.0人/週 (2967人/週)	1265.8人 (4201人)	0.92	50.1%	45.0%
オホーツク圏	29.8% (37床)	494.8人/週 (1333人/週)	613.2人 (1652人)	0.85	34.9%	31.5%
釧路・ 根室圏	17.6% (34床)	588.0人/週 (1717人/週)	659.3人 (1925人)	0.88	49.1%	50.7%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

総評 ①

【全国の状況】

- 全国では、新規感染者数が減少傾向となっているものの、病床使用率については、依然として高い水準となっている。国の専門家からは、新規感染者数は、着実に減少しているが、全国的には本年2月のピークよりもまだ高い感染レベルが継続しており、一部地域では感染者数の減少の鈍化がみられる、と指摘されている。北海道においては、他の都府県と比較するといずれも低い状況が続いているが、新規感染者数の先週比では、他の都府県に比べ、減少幅が小さくなっている。

※参考：9月8日、新規感染者数先週比 東京0.72、大阪0.68、福岡0.63、沖縄0.60（北海道調べ）

【医療提供体制】

- 療養者数は人口10万人当たりで852.6人であり、増減をしながら減少している。病床使用率については、34.5%と、減少傾向となっている。また、札幌市については33.2%と、増減をしながら減少している。地域によっては、十勝圏や道北圏で高い水準となっている。重症病床使用率は5.1%と、ここ数日増加している。

【感染状況】

- 新規感染者数は、人口10万人当たりでは628.1人。8月26日に、先週比が1を下回って以降、14日連続で減少している。年代別では、30代以下の割合が約6割と増加してきており、特に10代未満の割合が増加している。

総評 ②

【今後の対策】

- 「BA.5対策強化宣言」の下、引き続き、道民の皆様には基本的な感染防止行動の徹底やワクチン接種の検討について、呼びかけるとともに、事業者の方々に感染防止対策と社会経済活動の両立に向け、取り組んでいただけるよう働きかける。
- 9月8日、政府対策本部において、「With コロナに向けた政策の考え方」が決定され、療養の考え方の転換と全数届出の見直し(9月26日から全国一律に適用)、全国民を対象としたオミクロン株対応ワクチンの接種促進、陽性者の自宅療養期間に関する考え方が示された。
- 全数届出の見直しについては、道としても、9月26日から実施する。その際、①自宅療養をされる方が安心して過ごせるための環境を整備する、②そうした方を適切に医療に繋ぐ、③保健所や医療機関の負担を軽減する、といった観点の下、既に取組を開始した他県の状況や国の考え方などを確認するとともに、保健所設置市や関係団体とも情報共有をしながら、「健康フォローアップセンター」の機能や体制の検討などを含め、課題への対応に向けた考え方の整理を進める。
- 療養証明書については、国は、全数届出の見直しを適用する9月26日以降、発生届の対象外となる方には発行しないこととした。具体的な取扱いについての国の動向を注視し、今後の周知などについて検討する。

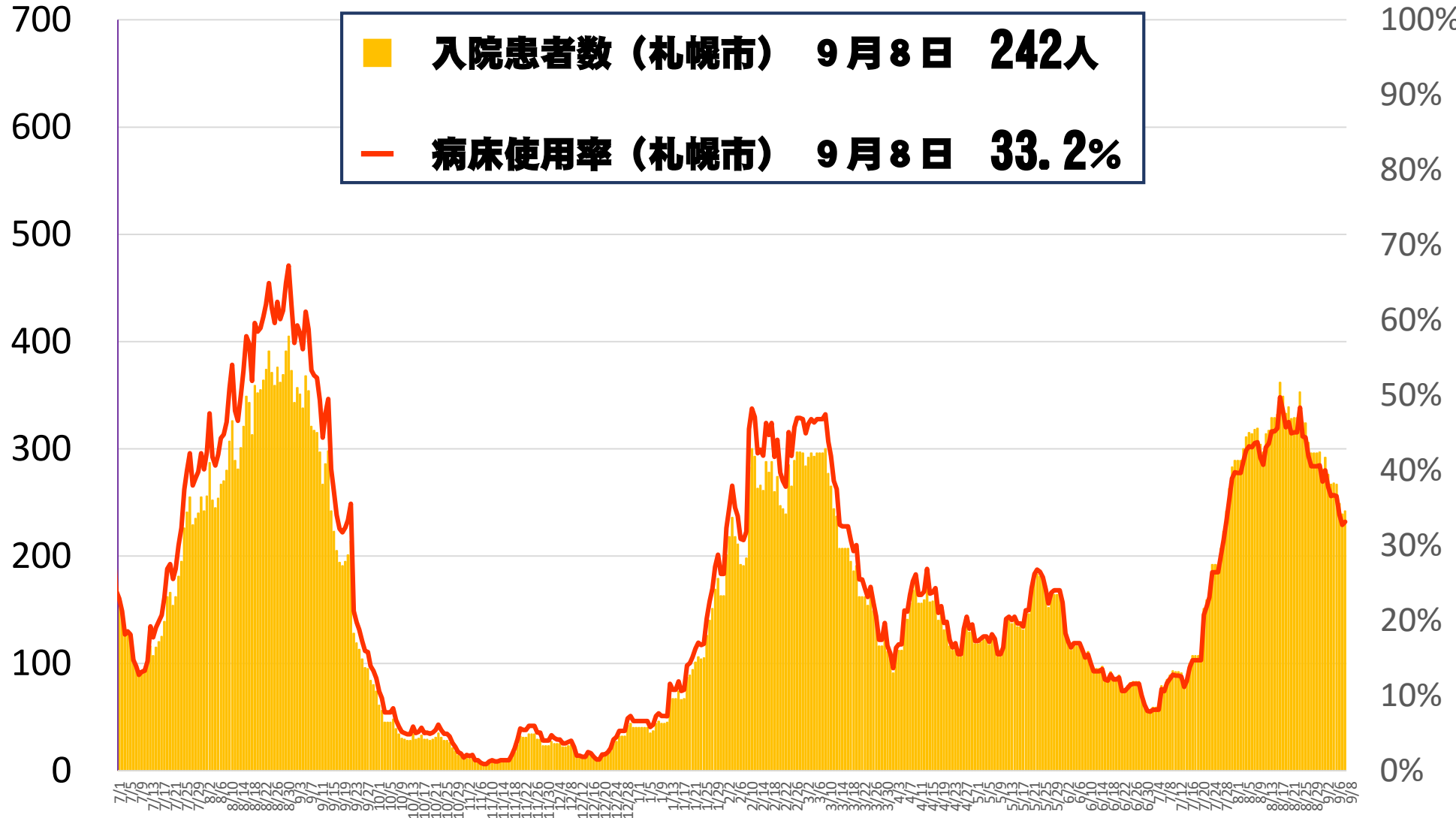
総 評 ③

- 「北海道陽性者登録センター」については、石狩管内(札幌市を除く)を対象とし、抗原定性検査キットの配付や陽性者の登録を開始しているが、診療・検査医療機関の更なる負担軽減を図るため、9月13日から対象年齢を広げ、地域を全道※に拡大して実施する。 ※全ての道立保健所管内
- オミクロン株に対応したワクチン接種については、初回接種を完了した12歳以上の全ての者を対象に10月半ばを目途として接種開始することや、高齢者や医療従事者等については、9月半ば以降、前倒し接種を開始することが示された。また、特例臨時接種の実施期間については、令和4年度末まで延長する方向で調整していることが示されたことから、詳細について情報収集を進めつつ、関係団体とも共有し、今後の道としての対応や市町村の支援について、検討を加速する。
- 5歳から11歳へのワクチン接種については、新たに努力義務化されたことや、3回目の接種も可能となったことも踏まえ、円滑な接種に向け、医療関係団体と調整を進めるとともに、保護者等の理解を深めるため、周知・啓発を行う。
- 療養期間の短縮等について、国の通知を踏まえ、道としても、速やかに保健所や関係機関に通知した。 ~スライド③①参照
- 自宅療養セットの配送については、9月9日から、全26保健所で電子申請による受付を開始するとともに、電子申請が困難な方を対象としたコールセンターを開設し、更なる配送期間の短縮を進める。

入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

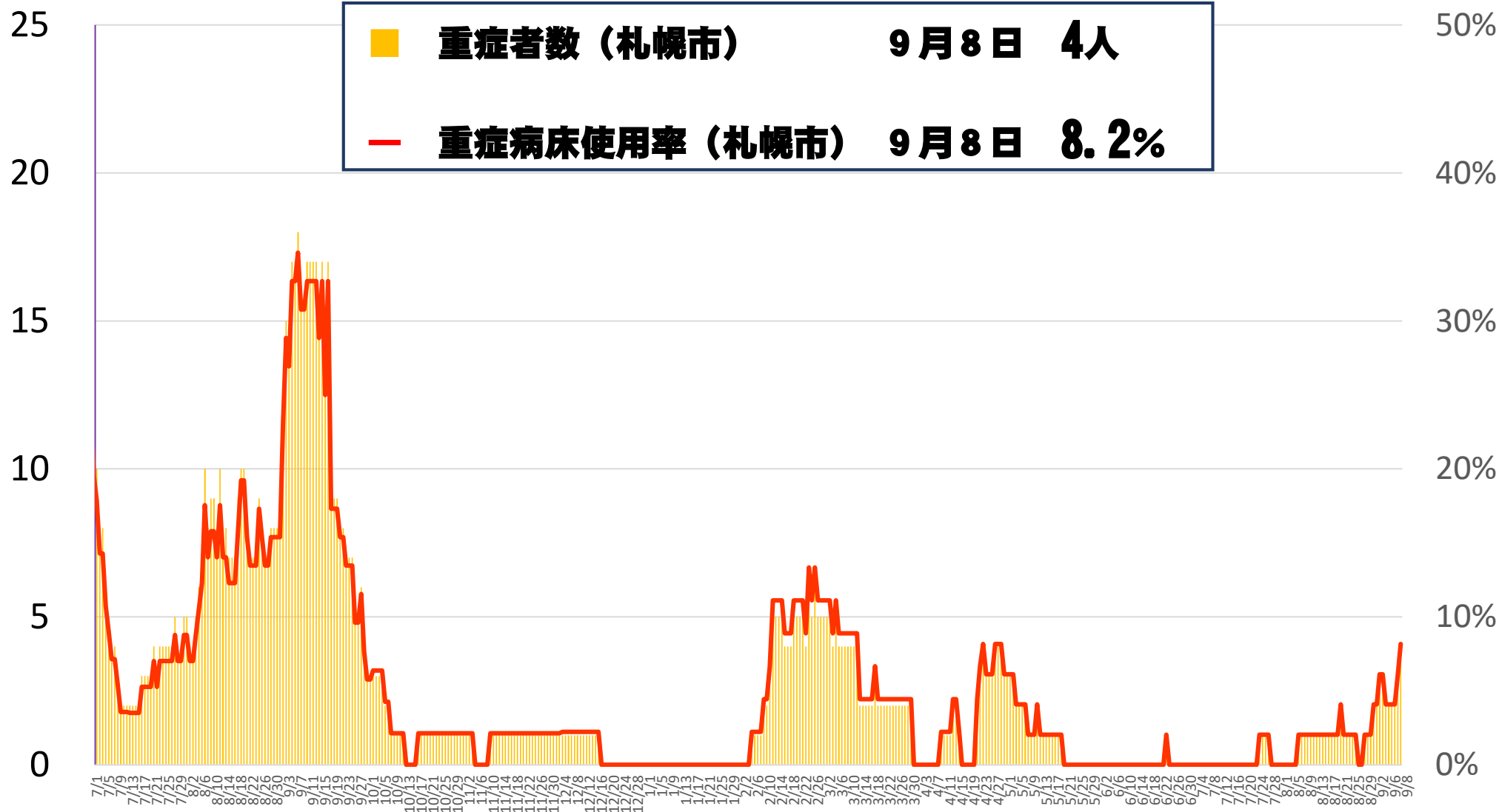
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

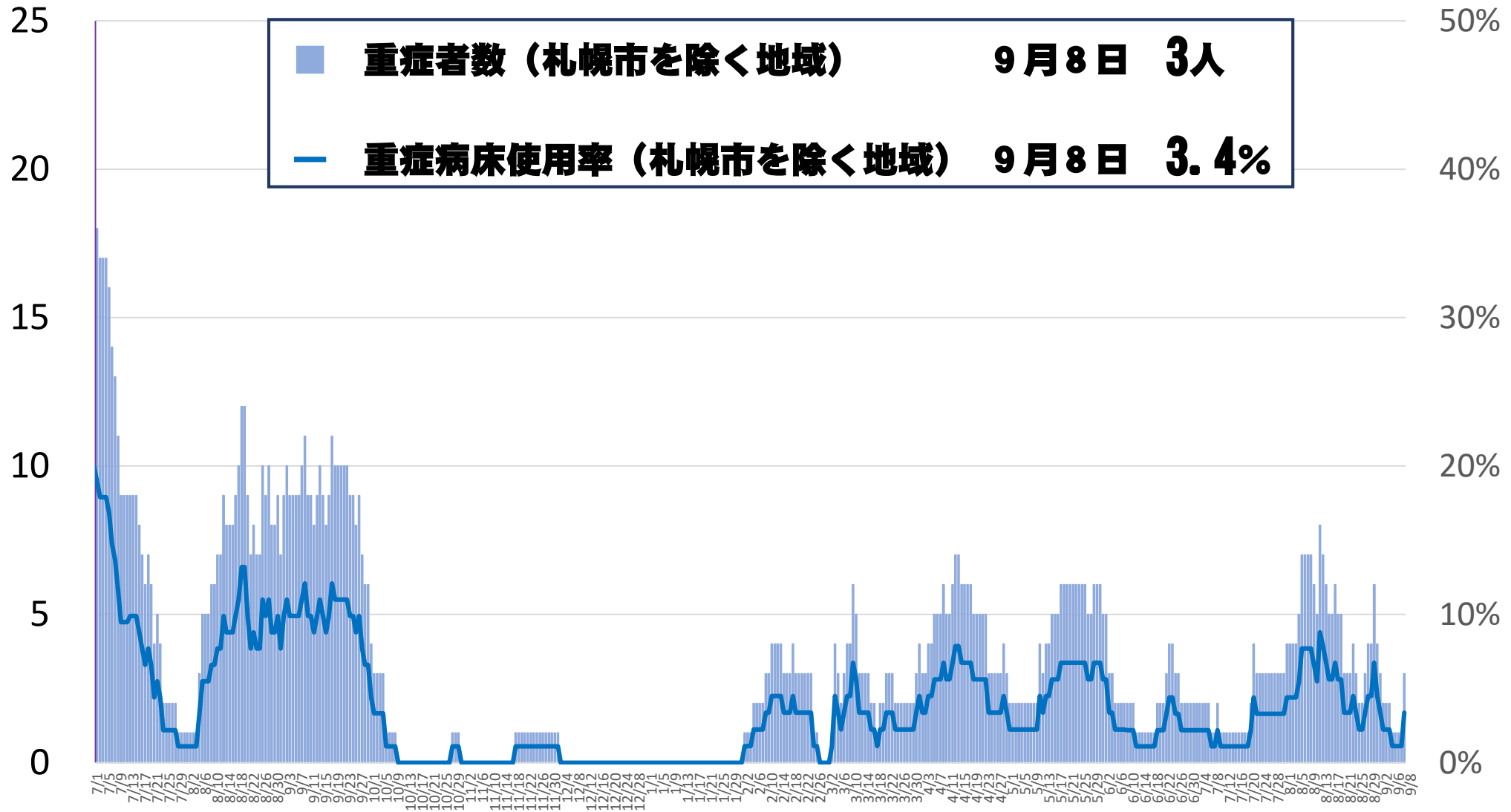
病床使用率



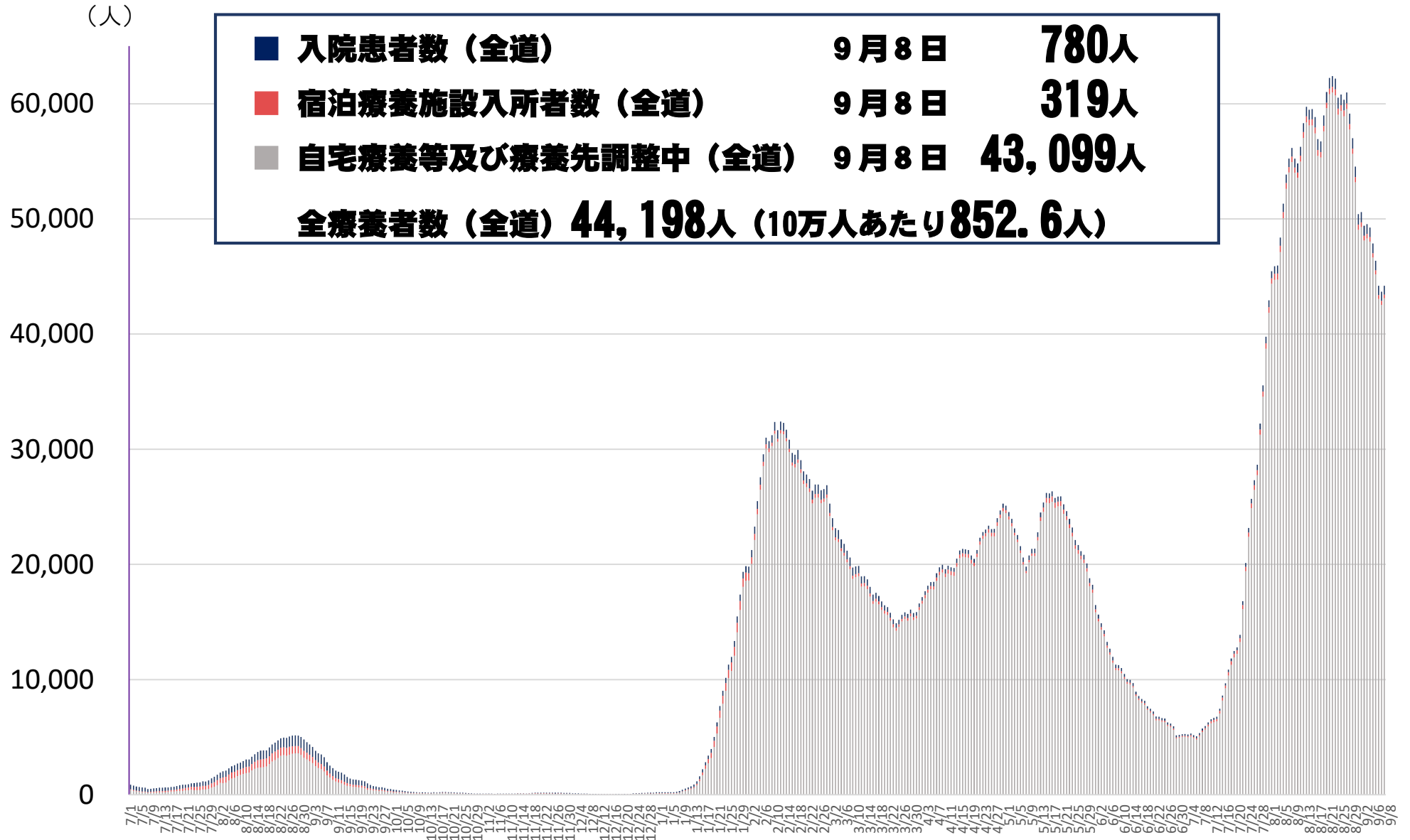
重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

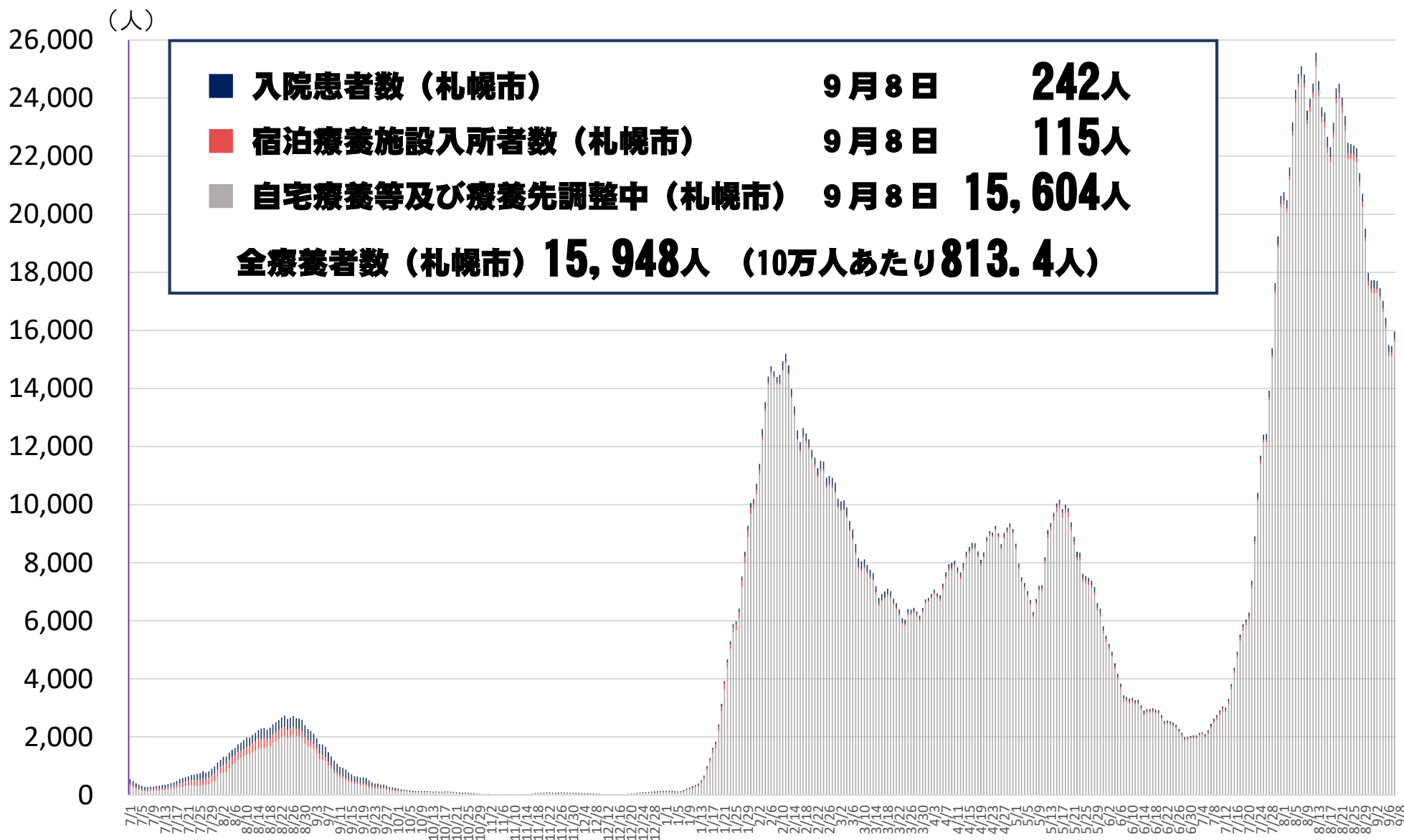
病床使用率



療養者数（全道）

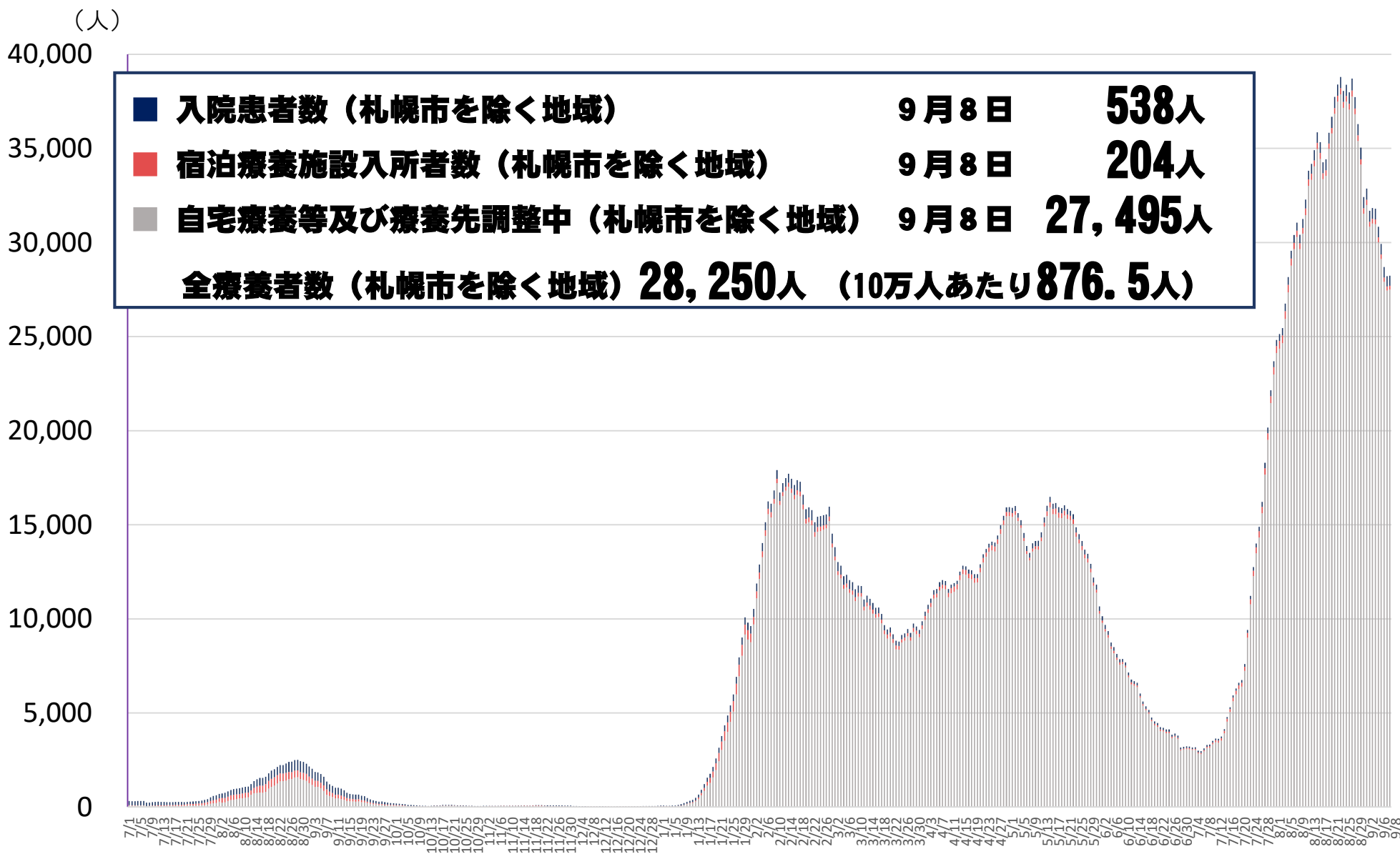


療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）



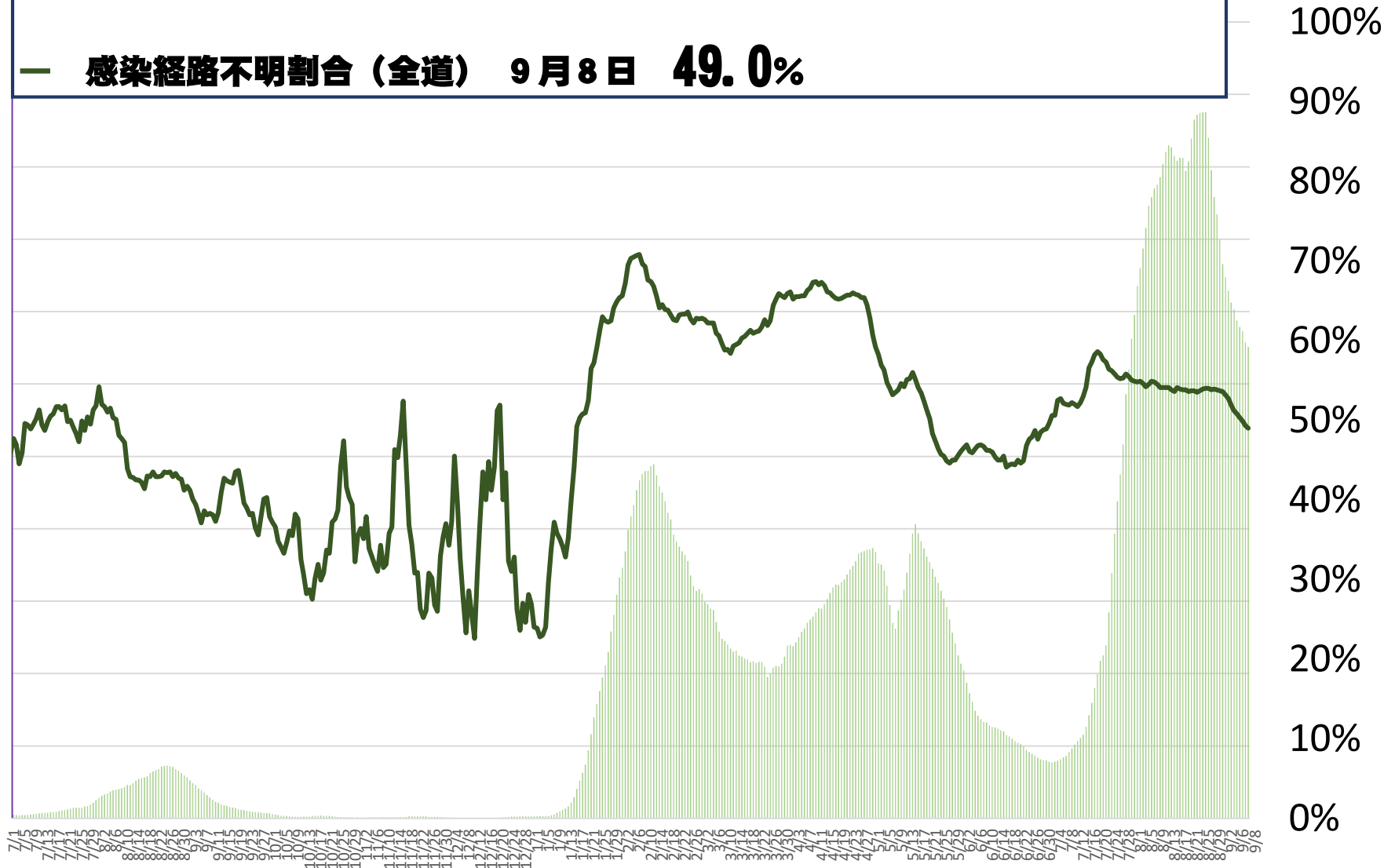
※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（全道） 9月8日 32,561人（10万人あたり628.1人）**
— **感染経路不明割合（全道） 9月8日 49.0%**

感染経路不明割合
(7日間平均)



新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市）9月8日 11,915人（10万人あたり607.7人）**

— **感染経路不明割合（札幌市）9月8日 48.9%**

感染経路不明割合
(7日間平均)

22,000

100%

20,000

90%

18,000

80%

16,000

70%

14,000

60%

12,000

50%

10,000

40%

8,000

30%

6,000

20%

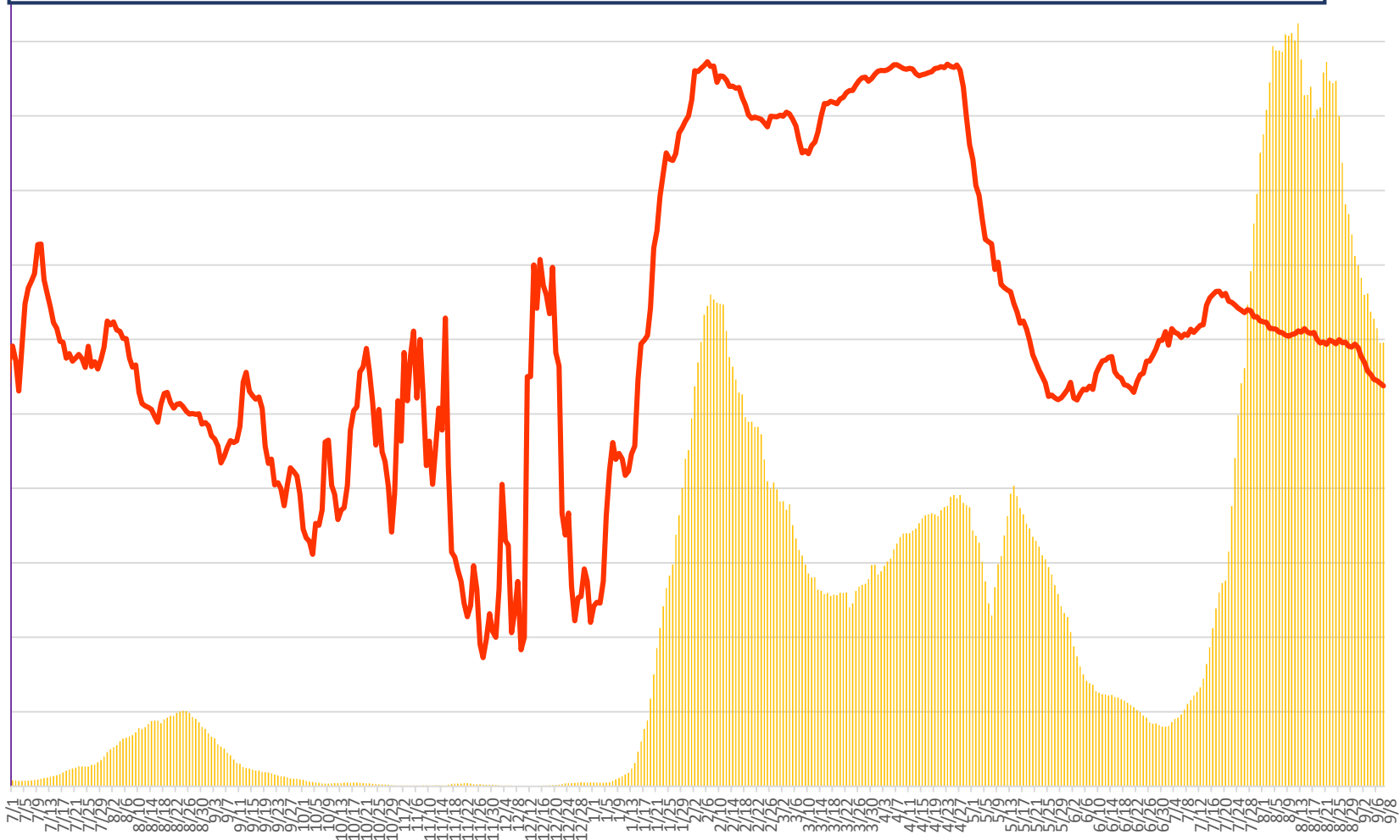
4,000

10%

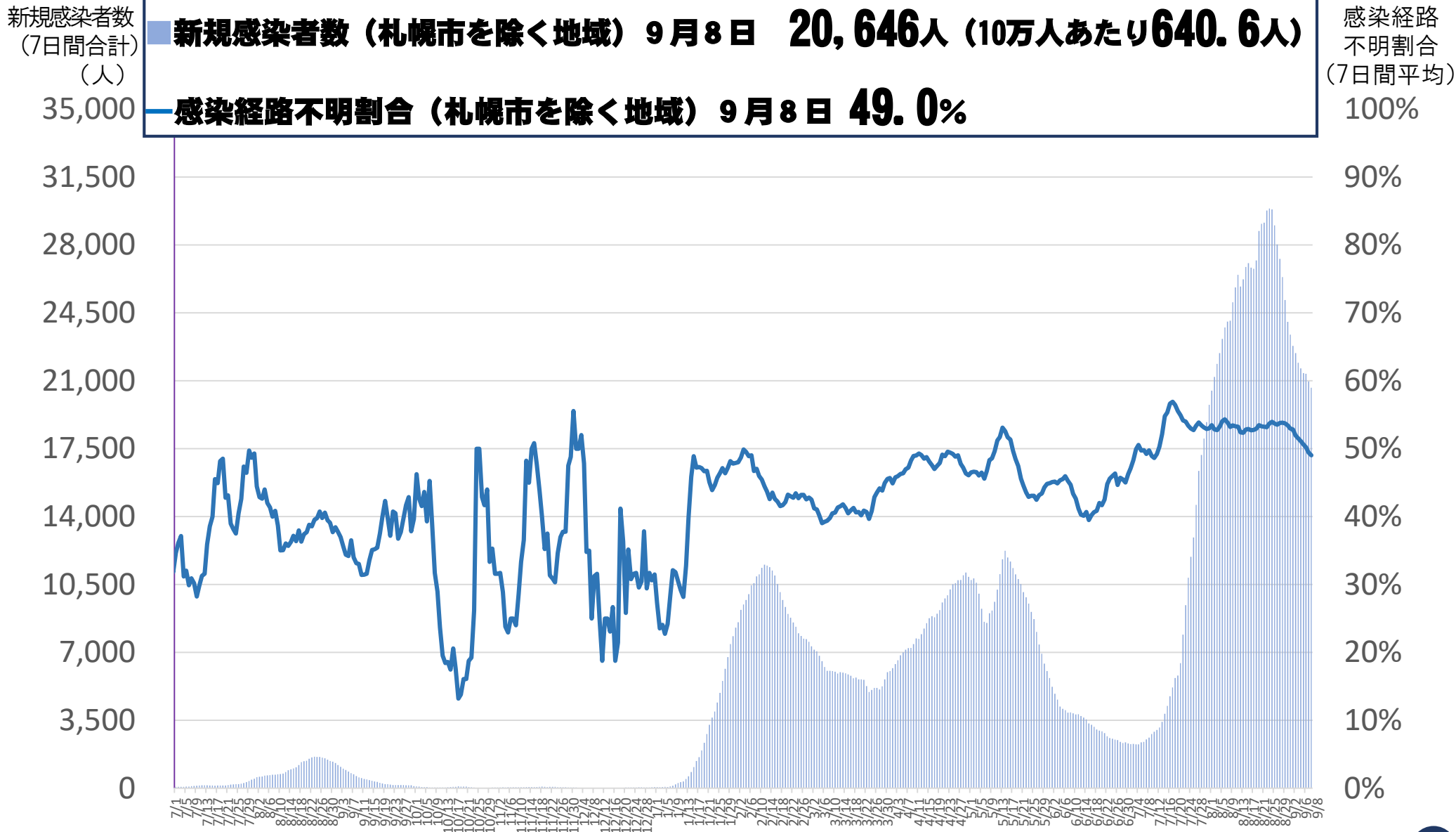
2,000

0%

0



新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）



検査数と陽性率（全道）

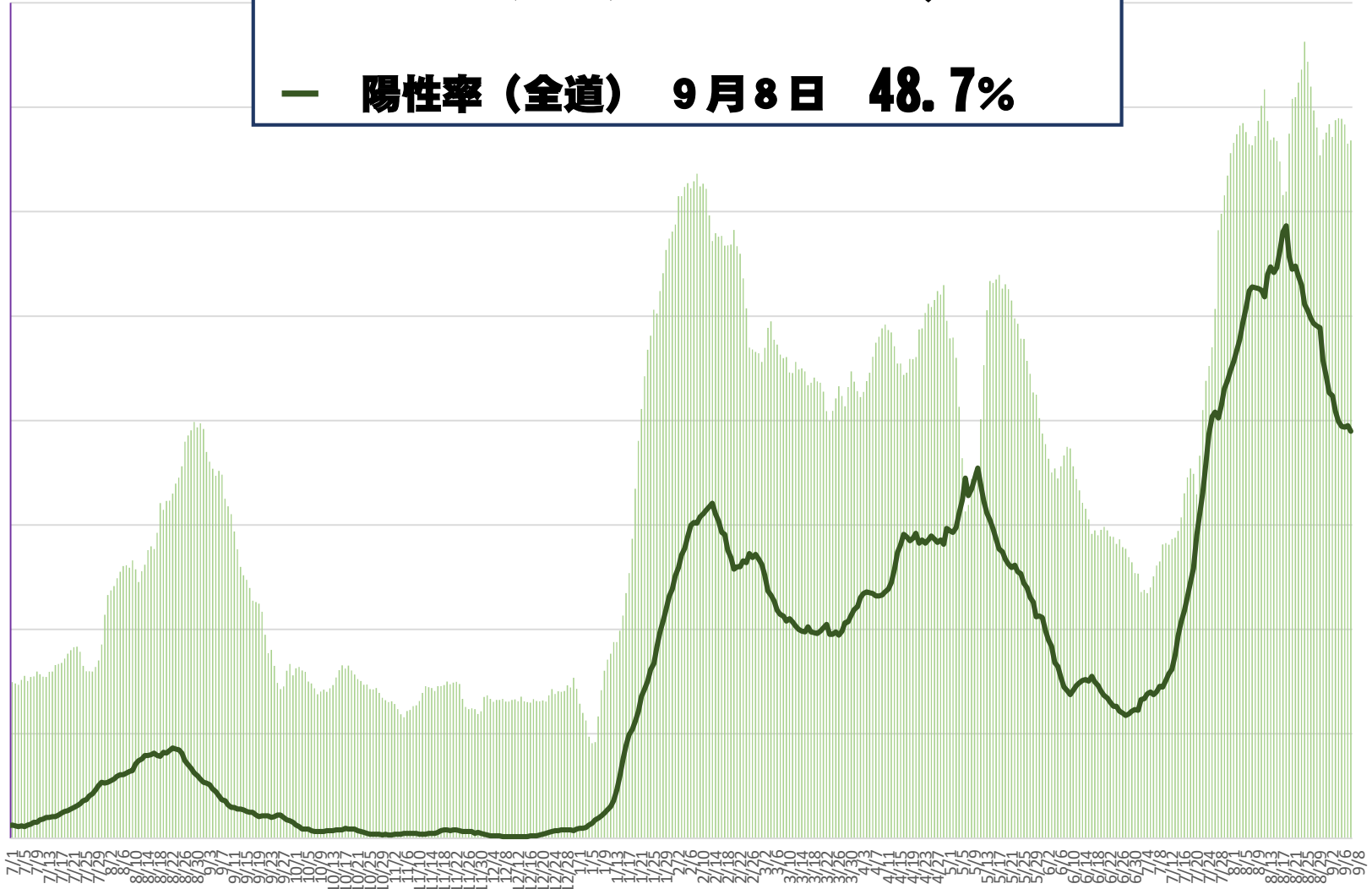
検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

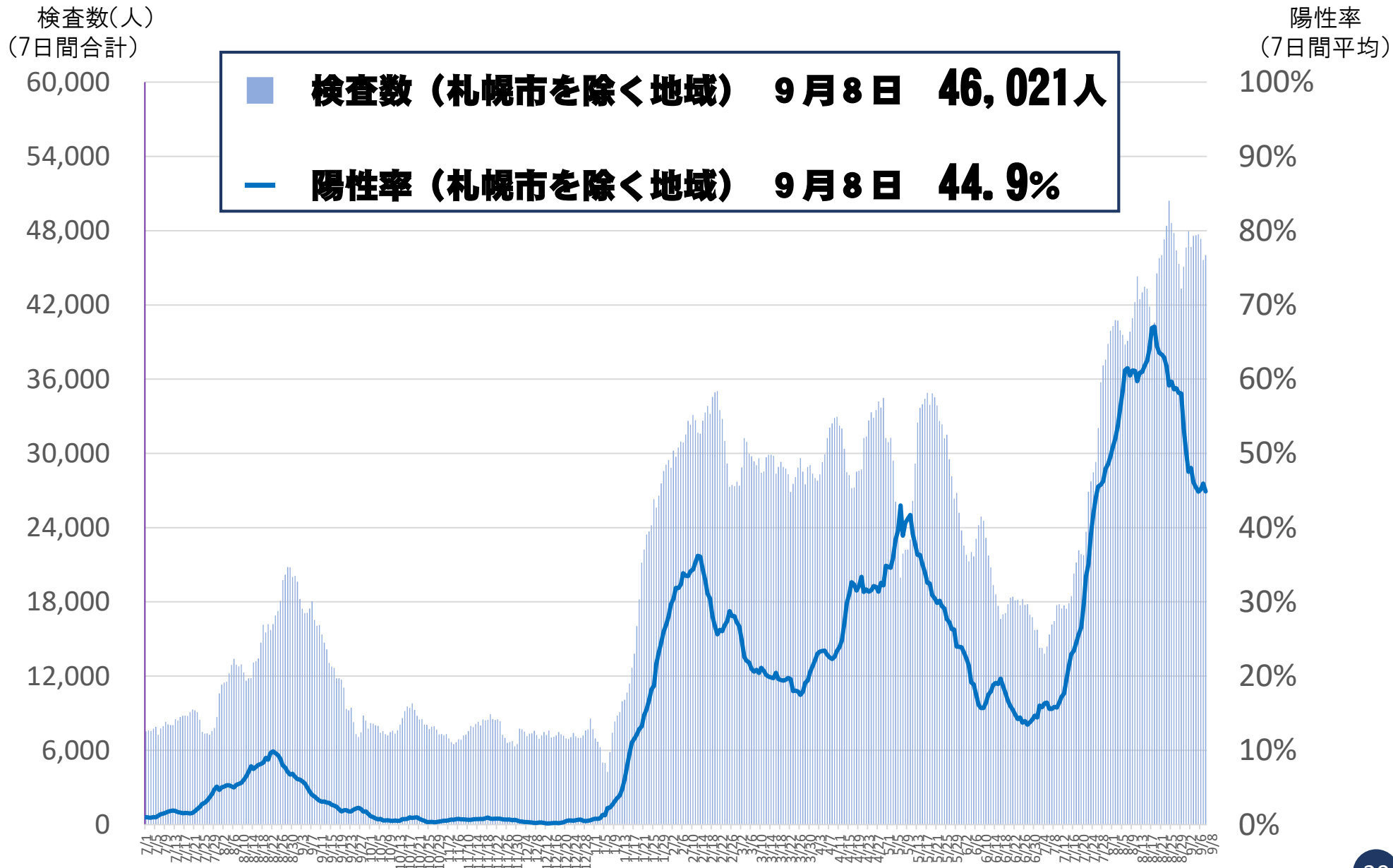
80,000
70,000
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0

■ **検査数（全道）** 9月8日 **66,823人**
— **陽性率（全道）** 9月8日 **48.7%**

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%



検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



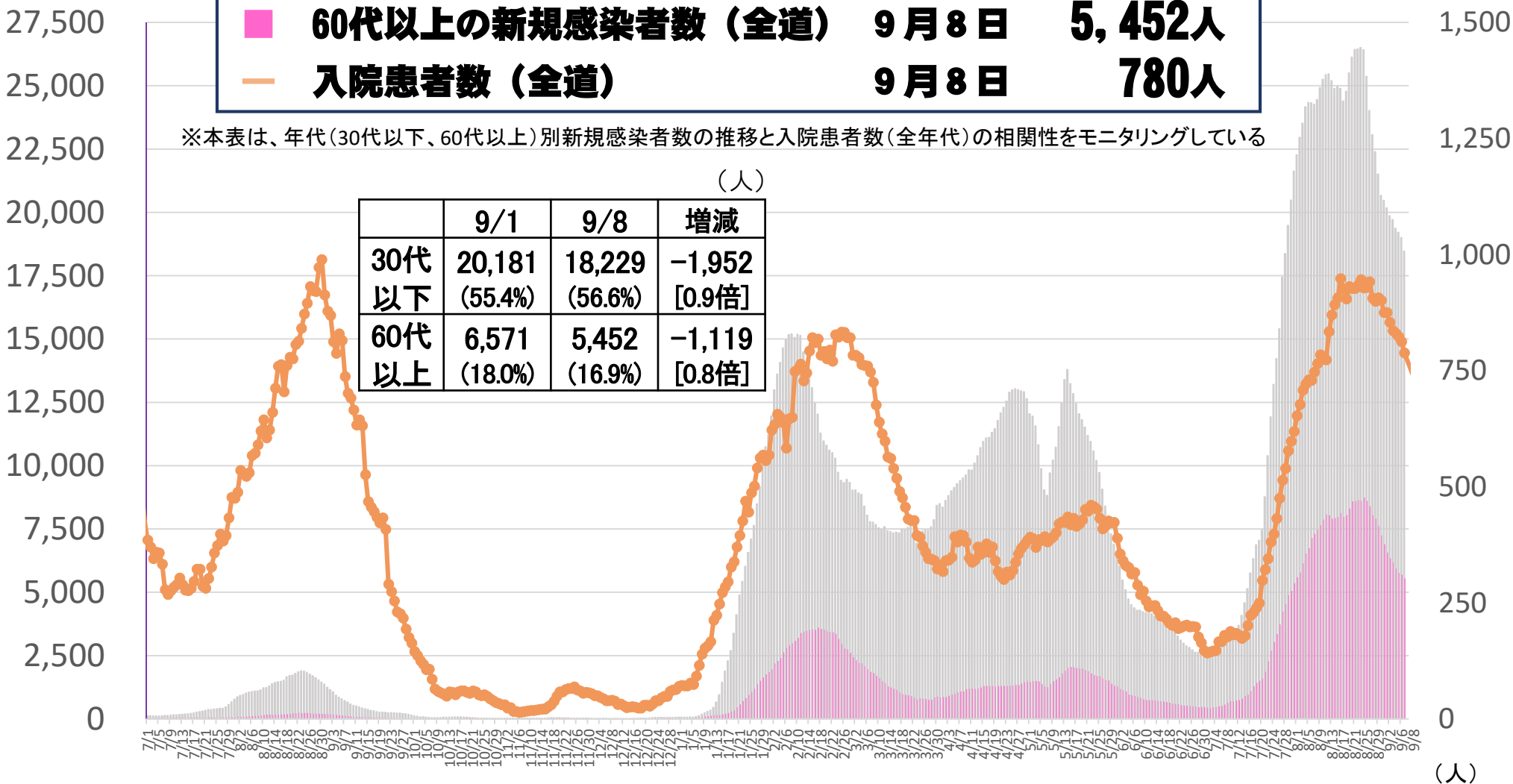
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

入院患者数
(人)

■ **30代以下の新規感染者数(全道)** 9月8日 **18,229人**
 ■ **60代以上の新規感染者数(全道)** 9月8日 **5,452人**
 — **入院患者数(全道)** 9月8日 **780人**

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	9/1	9/8	増減
10代未満	5,702	5,503	-199 [1.0倍]

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **30代以下の新規感染者数 (札幌市)**

9月8日 7,045人

■ **60代以上の新規感染者数 (札幌市)**

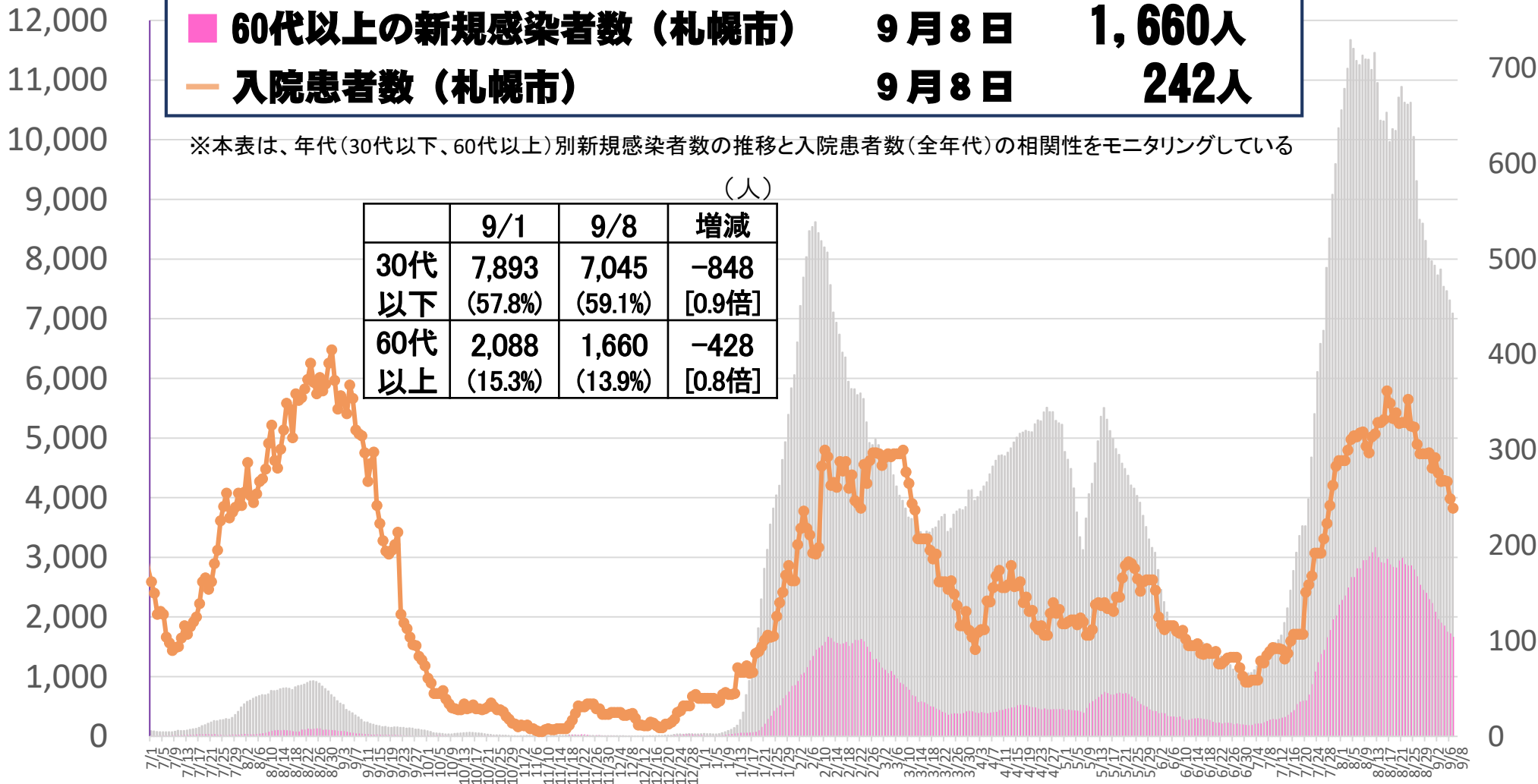
9月8日 1,660人

— **入院患者数 (札幌市)**

9月8日 242人

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている

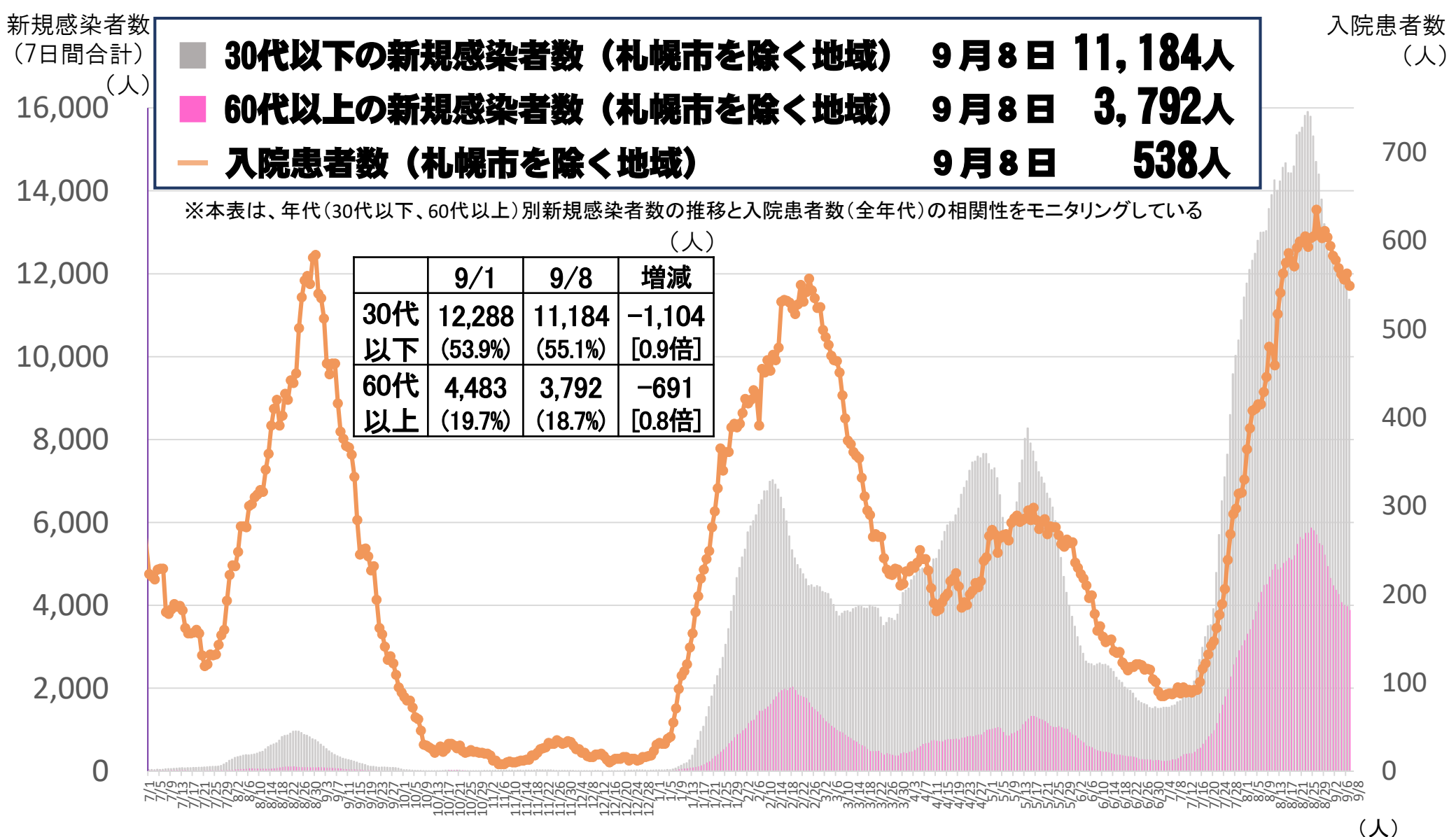


(参考)

	9/1	9/8	増減
10代未満	2,124	2,086	-38 [1.0倍]

(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)



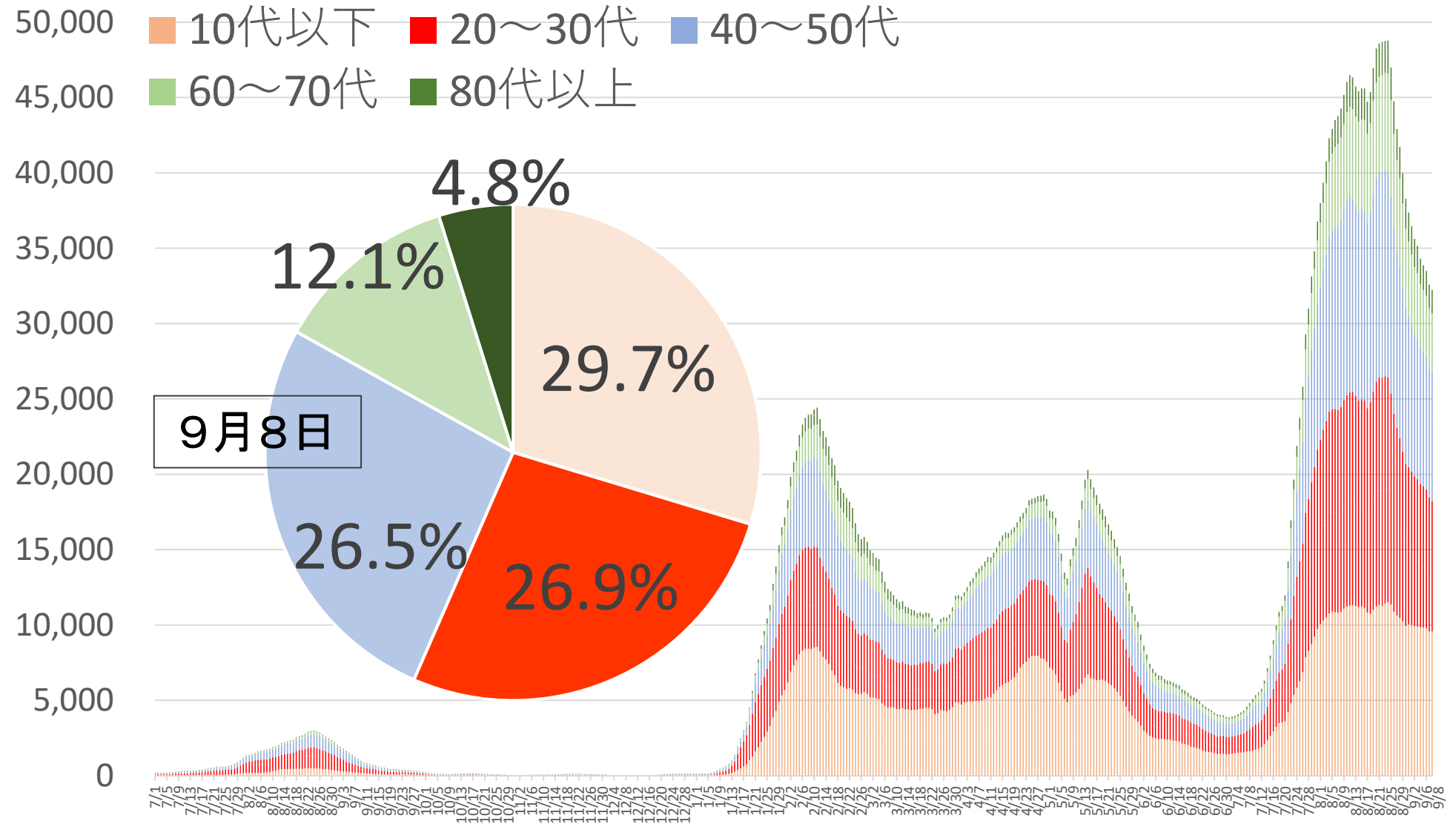
(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	9/1	9/8	増減
10代未満	3,578	3,417	-161 [1.0倍]

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	8/19~25			8/26~9/1			9/2~8		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	97件 (1834人)	14件 (409人)	83件 (1425人)	72件 (977人)	11件 (148人)	61件 (829人)	86件 (1020人)	14件 (188人)	72件 (832人)
札幌市	21件 (234人)	—	21件 (234人)	21件 (171人)	1件 (19人)	20件 (152人)	23件 (179人)	—	23件 (179人)
札幌市を 除く地域	76件 (1600人)	14件 (409人)	62件 (1191人)	51件 (806人)	10件 (129人)	41件 (677人)	63件 (841人)	14件 (188人)	49件 (653人)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。9/7現在)

<3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	3,486,418	67.3%
うち65歳以上	1,513,911	90.4%
(参考) 全国	81,767,320	64.9%
うち65歳以上	32,470,088	90.4%

<4回目接種の状況>

区分	4回目	
	接種者数	接種率
北海道	1,361,399	—
うち60歳以上	1,204,107	59.9%
(参考) 全国	29,746,663	—
うち60歳以上	26,731,841	61.7%

<1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,334,347	83.6%	4,271,022	82.4%
うち小児	59,538	22.2%	55,363	20.6%
(参考) 全国	104,143,277	82.7%	102,712,744	81.6%
うち小児	1,466,448	20.0%	1,352,160	18.5%

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)。

また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。9/7現在)

<3回目接種の状況>

区 分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率	(参考) 全国の接種率 (9/4現在)
		3回目	3回目
12～19歳	338,481 (6.5%)	39.8%	39.7%
20～29歳	454,762 (8.8%)	52.9%	50.8%
30～39歳	532,389 (10.3%)	55.2%	54.8%
40～49歳	715,550 (13.8%)	63.7%	63.5%
50～59歳	705,275 (13.6%)	76.9%	77.2%
60～64歳	335,730 (6.5%)	84.5%	85.0%
65歳以上	1,674,286 (32.3%)	90.4%	90.3%

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー社製 (小児用)	ファイザー社製	モデルナ社製	武田社製 (ノババックス)	アストラゼネカ 社製
ワクチンの種類	m-RNA			組換えタンパク	ウイルスベクター
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28~84日間隔)
対象者	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	原則40歳以上
第一期追加接種 (3回目)	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (6ヶ月間隔)	—
対象者	5歳以上 11歳以下	12歳以上	18歳以上	18歳以上	—
第二期追加接種 (4回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	—	—
対象者	—	・60歳以上 ・基礎疾患等 ・医療従事者等	・60歳以上 ・基礎疾患等 ・医療従事者等	—	—
接種主体	市町村	市町村	市町村	北海道 市町村	—

- ※ □は、令和4年9月6日付けでの改正箇所
- ※ 接種主体は現在実施中のみ掲載
- ※ 小児接種についても「努力義務」を適用する。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン

- オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンについては、9月2日に開催された国のワクチン分科会において、接種時期、接種対象者等について議論が行われ、下記のとおり示された。
〈道の対応等〉
- 国においては、薬事承認後、9月19日の週から前倒し接種分の配送を行う予定であり、現時点では、道内市町村に125万人分が配分見込み。道としては、引き続き、国の動向を注視し、市町村や関係団体に対し迅速に情報提供するとともに、円滑な接種の促進に向け、ワクチンの配分など地域実情に即した市町村支援に努める。

9月2日付け国の事務連絡の内容

接種対象者	初回接種を完了した12歳以上の全ての住民
接種の開始時期	10月半ばを目処 ・配送されたワクチンを利用し、9月半ば以降、前倒し接種開始 ・接種の順位に沿って実施
接種の順位	① 現行の4回目接種対象者で、未接種の方 ② ①の一定の完了が見込まれた市町村は、他の初回接種終了者(※) (※)接種の実施順は、社会機能を維持するために必要な事業の従事者や年代順など、 <u>地域の実情に応じて自治体が判断</u>
使用するワクチン	ファイザー社2価ワクチン(BA.1)及びモデルナ社2価ワクチン(BA.1)
接種間隔	<u>未定(今後議論)</u>
接種方法等	現時点では、1人1回の実施

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 北海道ワクチン接種センターの接種体制

- 道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」で、6月5日から9月25日まで毎週日曜日に、ノババックスワクチンの接種を実施。9月25日分までは予約枠を満たしている状況。

使用ワクチン	ノババックスワクチン	
対応接種回数	2回目	3回目
接種対象者	道内の市町村が発行した2回目用の接種券をお持ちの <u>12歳以上</u> の方	道内の市町村が発行した3回目用の接種券をお持ちの <u>18歳以上</u> の方
実施期間	令和4年6月5日(日)から9月25日(日)までの <u>毎週日曜日</u> (17日間)	
接種体制	1日当たり、120名 医療従事者:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等	

- 現在、札幌市ほか、14市町村でノババックスワクチンの接種が実施されており、一部市町村で空きがある状況。

※詳細については、道のホームページからアクセスできる。

(1) 療養期間

		改正前	改正後※1
有症状者	入院以外※2	・発症日から10日間経過、かつ症状軽快後72時間経過 (11日目に解除)	・発症日から 7日間 経過、かつ症状軽快後 24時間 経過(8日目に解除)
	入院者※3		(変更なし)
無症状者		・検体採取から7日間経過 (8日目に解除)	・検体採取から7日間経過 (8日目に解除) ・ 5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合、5日間経過後(6日目)に解除可能とする

※1 有症状者は10日間、無症状者は7日間が経過するまでは、検温等、自身による健康状態の確認や、高齢者等ハイリスク者との接触、会食等を避けること、マスクを着用すること等、自主的な感染予防行動を徹底。

※2 人工呼吸器等による治療を行った場合を除く。

※3 高齢者施設に入所している者を含む。

(2) 陽性者の外出

有症状の場合で 症状軽快から24時間経過後	マスク着用などの感染予防行動の徹底を前提に、 食料品等の買い出しなど、必要最小限の外出 を行うことは差し支えない(公共交通機関は使わない)
無症状の場合	

(3) 適用日

令和4年9月7日